

おいしい

米づくり情報

発行日 平成30年9月4日

No.12

南魚沼市
NOSAI新潟県
JA魚沼みなみ

— 30年産米 —
食味ランキング
特A復活に向けて！

30年産米の総仕上げ！

～ 今年は刈り遅れにならないよう
十分注意してください。～

1ヵ月予報で高温が予想されているため、950℃を目安に刈取り開始の判断をしてください。

【出穂期ごとの収穫期予想（8月20日現在）】

	出穂期	収穫期の目安	
		950℃（高温年）	1,000℃（通年時）
コシヒカリ、 こがねもち	8月 1日	9月 9日	9月11日
	8月 4日	9月13日	9月15日
	8月 7日	9月16日	9月18日
	8月10日	9月20日	9月22日

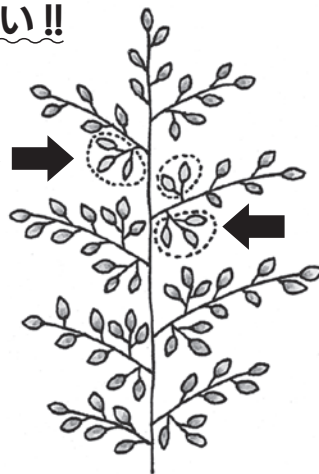
積算温度計の
設置圃場は、
米づくり情報
No.10を参照。

※8月20日以降の気温データは平年値を使用

- ・ 刈り遅れは胴割粒の発生要因となります。胴割粒は品質、食味に大きく影響を与えるため、刈り遅れには十分注意してください!!
- ・ 今後の天候によっては予想よりも遅れる場合があるので、必ずもみの黄化率と積算温度で刈取時期を判断してください。

○ もみの黄化率で刈取判断

- ・ 点線内（上位3～4本目の1次枝梗に着生する2次枝梗もみ）が黄化した時
- ・ 圃場全体のもみが85～90%黄化した時



《個袋出荷時の重要事項》

- ◎ 仕上げ水分は **14.5～15.0%** を厳守！
(15.5～16.0%は仮渡金減額となります。)
- ◎ 網目は **1.90mm以上** を使用し、整粒歩合85%以上を目標に！
※魚沼米憲章が変更になりました。
- ◎ 皆掛重量は **30.5kg** を確保！（袋を含めた重量）
※計量器の事前点検を忘れずに！

裏面もご覧ください。

「玄米」への「異物」混入が増加しています。

異品種、異物混入は、多大な費用損失や産地の信用失墜が懸念されます。特に収穫期から出荷の間が1番リスクが高くなりますので、産地全体で十分に注意を払いましょう。

本田管理 ・ 刈 取	<ul style="list-style-type: none">・倒伏した圃場の刈取りは、特に石が混入しないよう十分に注意してください。・雑草種子の混入を避けるため、クサネムなどの雑草は、刈取り前に必ず除去してください。・残留した籾の混入を防ぐため、コンバイン等の保守点検と整備、清掃を徹底してください。
乾 燥 ・ 調製作業	<ul style="list-style-type: none">・ホッパーの周辺は、張り込みの都度、清掃を行うとともに、作業終了後はホッパーに覆いをして異物混入を防ぎましょう。・品種切り替え時には、乾燥機や籾摺機内に残留がないよう、清掃を徹底してください。・籾摺調製初期の玄米には、調製ライン内の異物・異品種が混入している恐れがあるため、別管理し、出荷は回避するなどしてください。
出荷前	<ul style="list-style-type: none">・包装容器の取り違えがないことを確認しましょう。・運送車両の荷台及び下回りを清掃しましょう。

◎来年度のために土づくりを行いましょう!!

○土づくり肥料

毎年土づくり資材を施用し、消耗した養分を補充しましょう。

○稲わら・もみ殻のすき込み

稲わら・もみ殻には、圃場から吸収したケイ酸分が多く蓄積されており、秋に圃場にすき込むことで土づくり効果が期待できます。

☆すき込みのポイントは5～10cmの浅うちで！

分解を行う土壌微生物への酸素供給、春先の土壌の乾燥促進などの面から5～10cm程度の浅うちにしましょう。また、十分に分解させるために刈取り後はできるだけ早めに作業を行いましょう。

◎春のすき込みは、ワキの発生を助長し、根腐れや初期生育不良の恐れがあるため、秋すき込みを心がけましょう。

注意

稲刈り後や秋耕作業後は、道路等に泥を落とさないようにしましょう。
泥を落としてしまった場合は、速やかに片づけましょう。泥を片づけるには、除雪用のプラスチックスコップがおすすめです。



携帯メール会員募集!!

無料(通信料は除く)でタイムリーな生育状況や緊急情報をメールで配信しています。

登録の仕方がわからない方は、携帯を持って普及指導課にお越しください。こちらで登録いたします!

登録は下記メールアドレスへ空メールを送信

beikoku@haisin.jp

または、右記QRコードをご利用ください。➔



ご不明な点等がございましたら JA 普及指導課(TEL777-3786)までお問い合わせください。